

事業概要シート

施策 2003 ごみの減量化と適正処理の推進 <<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	廃棄物処理施設更新事業	その他の見直し	予算額	6,505 千円
			<<>	千円
事業期間	令和2年度 ~ 令和11年度	財 源 内 訳	国庫支出金	千円
根拠法令 要綱等	循環型社会形成推進交付金交付要綱		県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	6,505 千円

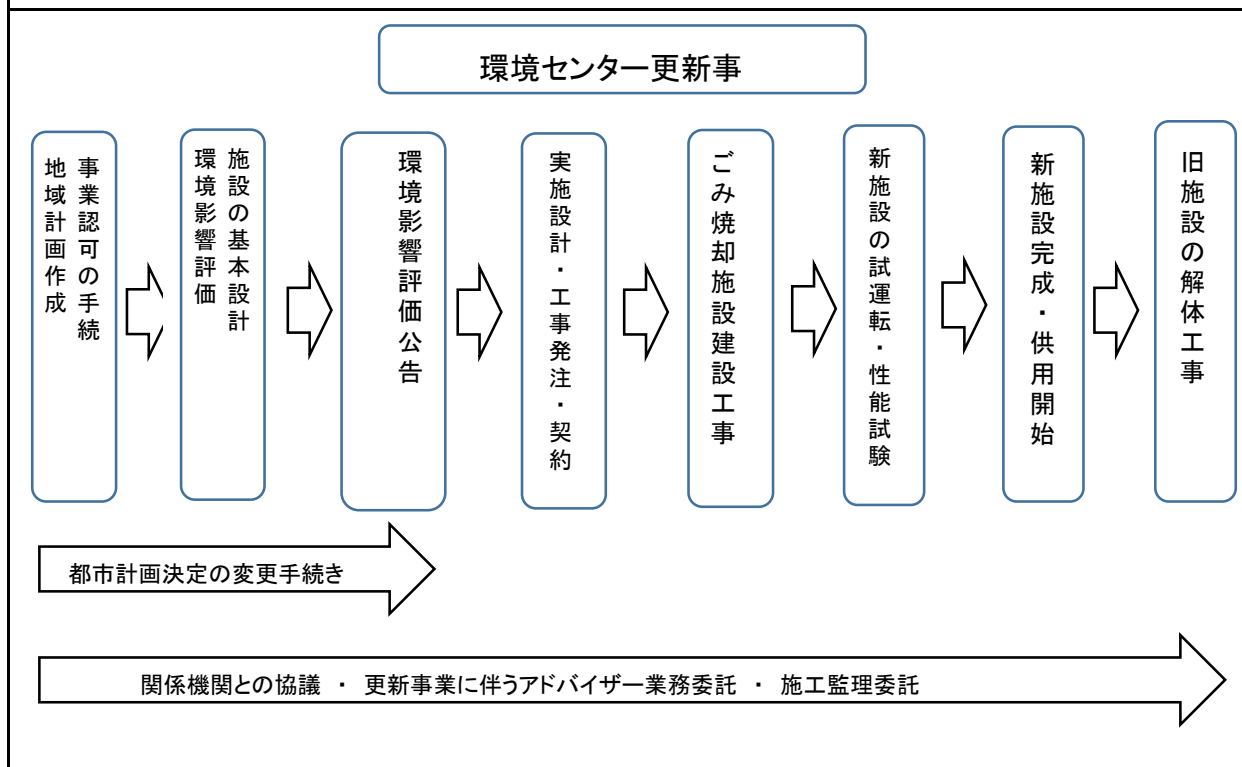
【事業の目的・概要・対象】

環境センター（ごみ焼却施設）の各設備が老朽化し、令和9年度に耐用年数である30年を迎える。今後も適正かつ安定的な廃棄物処理を行うため、新たな施設整備を行う必要がある。

施設整備は、廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を総合的に推進でき、市町村の自主性と創意工夫を活かし、循環型社会の形成、及びエネルギー回収を含め、環境面、財政面を考慮し、最適な事業計画を推進する。

【事業概要】

全体事業費 14,500,000千円
 （ 交付金 5,000,000千円 ・ 起債 8,000,000千円 ・ 一般財源 1,500,000千円 ）



【背景】

一般廃棄物の処理責任は、自治体にあるため、施設の更新（建替）計画を策定し、適正かつ安定的に処理する必要がある。

担当課	市民環境部 環境センター	課長	所長 荒木 良也
担当者	小森 信親	問合せ先	0957-54-3100

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)	
①	施設更新に関する事業進捗率 (事業費ベース)	計画値	%	0	0	0.1	0.4	1
②		計画値						

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①		計画値					
②		計画値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	0	0	0	6,505	44,000	74,000	124,505
国庫支出金					14,000	25,000	39,000
県支出金							0
地方債					27,000	44,000	71,000
その他							0
一般財源				6,505	3,000	5,000	14,505
人件費		1,091	4,727	23,256	23,256	23,256	75,586
職員(人)		0.15人	0.65人	3.00人	3.00人	3.00人	9.80人
時間外勤務(h)				720h	720h	720h	2160h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	1,091	4,727	29,761	67,256	97,256	200,091

妥当性 (市の関与)	一般廃棄物の処理責任に関する計画、施設更新事業であるため、市が事業主体である。
有効性 (施策貢献度)	一般廃棄物を適正に処理することで、公衆衛生面の向上を図り、市民が安心、安全に生活していくための計画、施設整備である。
効率性 (コスト)	一般廃棄物を適切かつ安定的に処理するための施設であり、必要な費用である。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり